

☆年間第2主日(1月14日)の聖書朗読☆※主任司祭からの解説があります。

### 第一朗読 (サムエル記上 3章 3b-10, 19 節)

その日、少年サムエルは神の箱が安置された主の神殿に寝ていた。主はサムエルを呼ばれた。サムエルは、「ここにいます」と答えて、エリのもとに走って行き、「お呼びになったので参りました」と言った。しかし、エリが、「わたしは呼んでいない。戻っておやすみ」と言ったので、サムエルは戻って寝た。

主は再びサムエルを呼ばれた。サムエルは起きてエリのもとに行き、「お呼びになったので参りました」と言った。エリは、「わたしは呼んでいない。わが子よ、戻っておやすみ」と言った。サムエルはまだ主を知らなかったし、主の言葉はまだ彼に示されていなかった。

主は三度サムエルを呼ばれた。サムエルは起きてエリのもとに行き、「お呼びになったので参りました」と言った。エリは、少年を呼ばれたのは主であると悟り、サムエルに言った。「戻って寝なさい。もしまた呼びかけられたら、『主よ、お話しください。僕は聞いております』と言いなさい。」サムエルは戻って元の場所に寝た。

主は来てそこに立たれ、これまでと同じように、サムエルを呼ばれた。「サムエルよ。」サムエルは答えた。どうぞお話しください。僕は聞いております。」

サムエルは成長していった。主は彼と共におられ、その言葉は一つたりとも地に落ちることはなかった。

### 第二朗読 (使徒パウロのコリントの教会への手紙 6章 13c-15a, 17-20 節)

皆さん、体はみだらな行いのためではなく、主のためであり、主は体のためにおられるのです。神は、主を復活させ、また、その力によってわたしたちをも復活させてくださいます。あなたがたは、自分の体がキリストの体の一部だとは知らないのか。しかし、主に結び付く者は主と一つの霊となるのです。みだらな行いを避けなさい。人が犯す罪はすべて体の外にあります。しかし、

みだらな行いをする者は、自分の体に対して罪を犯しているのです。知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

### 福音朗読（ヨハネによる福音書 1章 35－42節）

そのとき、また、ヨハネは二人の弟子と一緒にいた。そして、歩いておられるイエスを見つめて、「見よ、神の小羊だ」と言った。二人の弟子はそれを聞いて、イエスに従った。イエスは振り返り、彼らに従って来るのを見て、「何を求めているのか」と言われた。彼らが、「ラビ(先生)、どこに泊まっておられるのですか」と言うと、イエスは、「来なさい。そうすれば分かる」と言われた。そこで、彼らについて行って、どこにイエスが泊まっておられるかを見た。そしてその日は、イエスのもとに泊まった。午後四時ごろのことである。

ヨハネの言葉を聞いて、イエスに従った二人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった。彼は、まず自分の兄弟シモンに会って、わたしたちはメシア(油を注がれた者)に出会った」と言った。そして、シモンをイエスのところに連れて行った。イエスは彼を見つめて、あなたはヨハネの子シモンであるが、ケファ(岩)と呼ぶことにする」と言われた。

### 朗読解説 一主任司祭より皆様へ一

寒い日が続いていますが皆さまお元気ですか。能登地方に大きな地震があり今も大変な状況が続いています。地震の犠牲になられた人、あらゆるものが破壊されてとほうにくれるひとびとが大勢おられます。この方々の上に神さまの慈しみ深い心が送られますように祈りましょう。また一刻も早く適切な支援が届きますようお祈りいたしましょう。

さて、今年の教会の典礼は早くも降誕節が終わり、年間の季節が始まりました。福音ではイエスの宣教活動の始まりの様子が語られていきます。

この福音の朗読を通してイエスさまがどのように人々に近づいて行かれたか、その方法を知るのも福音の良い読み方かもしれませんね。また自分が本当にイエスさまに出会った時にはどのような反応をするのでしょうか、考えてみるのもいいでしょうね。

### 第一朗読（サムエル記上 3章 3b-10, 19節）

サムエル預言者の少年時代のエピソードが語られています。神殿の祭司エリと過ごしていたサムエルに神の言葉が「サムエル！」と語り掛けます。サムエルは祭司エリが読んだものと思い、エリのもとに行くのですが、エリは呼んでいないと答えます。何度か同じことが繰り返されたのち最後には、エリはこれは神の呼びかけだと確信し、「今度呼ばれたら、主よお話してください。僕は聞いています、と答えなさい」と教えます。サムエルはその言葉に従い、神の言葉を聞くのです。私たちにも神はいつも語り掛けておられます。聞き逃さないようにサムエルのように答えましょう。「主よお話してください。僕は聞いております」と。

### 第二朗読（使徒パウロのコリントの教会への手紙 6章 13c-15a, 17-20節）

「あなた方の体はキリストの体の一部である」とパウロは主張します。また「あなた方の体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿である」とも言っています。あなた方は高価な代価（キリストの苦しみと死）によって買い取られたのですから、自分の体で神の栄光を現しなさいと、信徒に勧めています。現代もみだらな文化が後を絶ちません。パウロの勧めを肝に銘じましょう。

### 福音朗読（ヨハネによる福音書 1章 35-42節）

洗礼者ヨハネの弟子たちがイエスに出会い、従っていく様子が語られています。二人の弟子たちはイエスに出会い声を掛けます。「どこに泊まっておられるのですか？」二人の弟子はイエスがどのような生活をしているのかを知りたかったようです。イエスがどんなことを話していたかではなく、どんな



生活をしてきたかを知りたかったのです。生活はその人の人となりや考え方を現すものだからです。言行一致の生活を知りたかったのです。私たちの信仰と生活はどうでしょうか。私の生活ぶりは信仰を現しているでしょうか。



雪化粧の足立教会（2023年1月）

P.S.

昨日は大雪警報が日本海側に出ていました。地震の被災地では困ったでしょうね。支援の募金にご協力ください。

カトリック足立教会  
主任司祭 野口重光